

平成27年度認定日本遺産 総括評価・継続審査結果

STORY #001

近世日本の教育遺産群-学ぶ心・礼節の本源-

I. 計画目標の達成に対する評価

	最終評価	最終評価理由（現地調査結果も含む）
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「日本遺産の認知度」「日本遺産を活用した取組数」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産への協力団体数」「日本遺産のためのふるさと納税額」「観光ボランティアガイドの活動」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	不可	■ 新型コロナウイルス感染症や豪雨災害の影響といった、やむを得ない理由も確認されたものの、全体として目標を達成していない。

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	最終評価	最終評価理由（現地調査結果も含む）
(1) 組織整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 民間組織の参画数が一定程度あるほか、ふるさと納税やクラウドファンディング等を通じた財源確保など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 各市行政計画における日本遺産の位置づけや、アンケート調査の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ガイド養成講座、地域住民や民間企業等を対象とした研修など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 各地の構成文化財の整備事業、多言語での展示パネルの制作や案内板の設置など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(5) 観光事業化	個別評価	不可	不可	<ul style="list-style-type: none"> 体験型ツアーの造成や構成文化財を活用したイベント開催など一定程度の取組を実施したが、日本遺産事業全体の集客効果・経済効果を高めることが望まれる。
(6) 普及啓発	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 住民向け出前講座、構成自治体間の子供交流事業や展示会の開催など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 協議会ホームページやSNSでの情報発信、多言語ナビゲーションアプリの活用など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価			可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができている。

III. 総括評価

		最終評価	最終評価理由（現地調査結果も含む）
総括評価	個別評価	B	<ul style="list-style-type: none">■ 目標値を達成していないものの、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。

日本遺産を通じた地域活性化計画 評価概要

	最終評価案	最終評価理由（現地調査結果含む）
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 近世日本の「教育遺産」は、日本の先進的で優れた教育とその制度を示すものであり、広く全国の旧藩校等との連携・交流や世界の教育環境への働きかけや支援といった、外に開かれたビジョンが求められる。近世日本の教育理念を海外に向けてどのように発信していくのかといった戦略的発想を検討されたい。 ■ ビジョンとして、4つの将来像を実現するための方向性が掲げられているが、例えば、「地域の活性化」を将来像の1つに挙げる一方、最終的に「以上の将来的なビジョンに基づき、……地域活性化のための取組を推進する」とある点など、計画には必ずしも整理しきれていない部分が残る。 ■ 日本遺産の目的にふさわしい観光・地域活性化への視点から、一定の改善がみられたことは評価できるが、これまでの3年間の工夫の成果をより一層明確化するとともに、今後さらに意欲的な事業に取り組まれない。 ■ シリアル型の日本遺産として、4市が連携した取組を一層充実させることが求められる。 ■ ビジョンの実現に向けた方策・取組内容について、まだ抽象的なものにとどまる部分が残るため、今後の実行の中で具体化を図りながら取り組まれない。 ■ 日本遺産としてのテーマや、各文化資源の素材には大いに期待できる。これらを活かすためにも、観光事業化の施策（その実現性を含む。）や、各市におけるシビックプライドの醸成について、一層の充実を図られたい。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産推進部会（仮）の設置を検討するなど、推進体制の充実が見られる点は評価できる。当該部会を組織表や事業推進イメージ図に明確に位置づけるなど、設置するのみならず十分に機能を発揮できるよう取り組むことが求められる。また、民間事業者や地域人材との連携について、さらなる充実を図ることが求められる。 ■ 民間事業者の導入を計画するなど、一定の取組みの充実が見られたことは評価できるが、文化観光事業を担う新規性のある団体をさらに取り入れるなどの対応を進められたい。 ■ 本計画が十分に実現されれば、地域活性化につながることを期待される。特に人材育成の面などで具体的な方途の検討を深め、民間事業者の活用を意識して取り組むことが求められる。例えば、4市を束ねて全体を総合調整するようなプロデューサーを置くことなども検討されたい。
<p>総合評価</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一定の取組みの充実を確認できたものの、行政が主導する計画にとどまっていることから、民間事業者の取組をさらに活用するよう検討を深められたい。これまでの9年間の活動の単なる延長線上ではなく、近世日本の教育という優れたレガシーを世界に向けて発信できるような具体的な事業を構想することが求められる。トップリーダーを含めた関係者全員において、日本遺産の意義に関する共通理解をもって取組を進められたい。 ■ 計画上、必ずしも整理しきれていない部分も残るが、優れた文化資源の活用に向けた戦略をさらに深め、日本遺産としてのストーリーを活かした活動を進められたい。この際、日本遺産の目的にふさわしい事業の推進や、シリアル型としての4市の連携や民間事業者の活用を含む体制の充実特に留意されたい。 ■ 現代社会において教育や礼節を涵養する場となる、といった気概を持ったお取組みが期待される。

評価結果

認定継続
(条件付)

- 地域活性化計画及びコメント内容について、6年間着実に実行されるようにすること。特に、①シリアル型の日本遺産として構成自治体4市の連携を深めること、②民間事業者の活力も取り入れながら魅力ある文化資源を一層活用し、当初からの日本遺産の目的である観光振興・地域活性化に取り組むこと、の2点に留意されたい。
- この実効性を担保するため、6年後の総括評価・継続審査において、日本遺産であることが適当とされた地域の数、100件程度を超える場合には、認定地域（条件付）または候補地域について相対評価を行い、上位の地域を日本遺産とする。
- なお、認定継続（条件付）となった地域は、毎年度、進捗状況を御報告いただくこととしているが、2回目以後の総括評価・継続審査の結果として条件を付すこととなった地域については、計画期間の3年目において、現地確認を実施する可能性があることを申し添える。

平成27年度認定日本遺産 総括評価・継続審査結果

STORY #007

祈る皇女齋王のみやこ 齋宮

I. 計画目標の達成に対する評価

	最終評価案	最終評価理由（現地調査結果も含む）
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「外国人観光客数」及び「宿泊客数」について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成していない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産のためのふるさと納税額」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体としては概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	最終評価案	最終評価理由（現地調査結果も含む）
(1) 組織整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 個人サポーター・法人サポーターの数やふるさと納税額が一定程度あり、DMOとの連携がなされているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(2) 戦略立案	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 各種計画の策定や計画への位置付けが図られているほか、アンケート調査の取組など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(3) 人材育成	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 地域プロデューサー・地域プレーヤーが一定数存在し、地域住民の協力やインバウンド向けガイドの育成にも取り組むなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(4) 整備	個別評価	可	不可	<ul style="list-style-type: none"> 各施設における日本遺産のストーリーを伝える仕組みの整備が十分ではない。また、構成文化財間の周遊を促すような仕掛けが少ない。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> DMOによるNFT「竹神社デジタル御朱印」等のコンテンツ開発、日本遺産周遊促進事業など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(6) 普及啓発	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> いつきのみや歴史体験館での体験学習や日本遺産ストーリー解説マンガ本の配布・販売する他、日本遺産を勉強する新教科の設置を進めるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> SNSや国内外イベントへの参加などの多様なチャネルを活用した情報発信が行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。
総合評価			可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施が概ねできている。

III. 総括評価

		最終評価案	最終評価理由（現地調査結果も含む）
総括評価	個別評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民間事業者であるDMOと密に連携しながら、それぞれの分野で一定程度の事業を実施してきたことから、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

日本遺産を通じた地域活性化計画 評価概要

	最終評価案	最終評価理由（現地調査結果含む）
① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 従前と比べ、将来像とその実現に向けた取り組みの柱が明確となり、地域活性化計画の骨格が見えるようになった点は評価できる。具体的な方策についても、短期・中長期に分類して的確に記載されているが、さらに具体化を深められたい。 ■ 史跡での事業に特化していたことが懸念されたが、周辺の地域活性化、観光DMOとの連携などに一定の改善がみられたことを評価する。ただし、史跡としての魅力と、日本遺産としての魅力については区別して認識することが求められる。 ■ 史跡が対象の大部分を占めることから、その活用にも一定の制約があることは理解されるが、その上で、将来像の実現化の施策について、さらなる取組みの工夫が求められる。
② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 戦略企画部門の設置、および多様な事業者を巻き込みつつ主要アクターを理事会と位置づけることでの体制の明確化が図られているものと評価できる。特に、多様な民間事業者が参画し、戦略企画部門が設置されたことで、今後の活動に期待が持てる。 ■ 唯一無二のストーリーの活用に向け、歴史博物館の活動のみならず、広大な史跡をガイドとともに巡るなど、齋宮の価値を伝え、「見える化」する仕組みづくりに注力されたい。地域活性化に向けた7つの取組は、十分に機能すれば地域活性化につながると思われるが、さらなる具体化が求められる。 ■ 行政主導から地域主導への発展は評価できるが、齋宮跡は史跡でもあり、実際の活用に当たってはきめ細かく対応されるよう配慮されたい。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 行政と民間の役割分担がかなり明確になっているものと評価できる。史跡の整備・活用では、次年度策定する史跡等保存活用計画に期待したい。また明和町観光公社を核とする民間事業者の活動も少しずつ成果が見えてきているが、DMOには第一に実行力が求められることから、この6年間でさらなる取組みの進展が期待される。 ■ 広大な国史跡を中核とした日本遺産のストーリーが、戦略企画部門の充実の中でどのように地域活性化に利用されるか、大いに期待が持てる。「祈り」というキーワードを国家形成ときちんと紐づける事業を展開すること、地元のまちづくり組織の参加など史跡の範囲を超えた観光・地域振興を展開していくことに留意されたい。 ■ 計画はビジョン・体制ともに一定の水準に達しているが、基幹的な部分が今後の取組みとして残されており、今後、実効ある取組みを進められたい。 ■ 現状変更が許可制の史跡の活用については、そしてそれがメインを占める齋宮については、観光事業化についても、その特性を十分に踏まえて具体化を進められたい。

評価結果	認定継続 (条件付)	<ul style="list-style-type: none">■ 地域活性化計画及びコメント内容について、6年間着実に実行されるようにすること。特に、日本遺産のストーリーを活かした齋宮の価値の「見える化」に取り組むにあたり、史跡の活用の在り方を十分工夫するとともに、DMOやまちづくり組織など多様な主体の参画を得るよう留意されたい。■ この実効性を担保するため、6年後の総括評価・継続審査において、日本遺産であることが適当とされた地域の数、100件程度を超える場合には、認定地域（条件付）または候補地域について相対評価を行い、上位の地域を日本遺産とする。■ なお、認定継続（条件付）となった地域は、毎年度、進捗状況を御報告いただくこととしているが、2回目以後の総括評価・継続審査の結果として条件を付すこととなった地域については、計画期間の3年目において、現地確認を実施する可能性があることを申し添える。
------	---------------	--

平成27年度認定日本遺産 総括評価・継続審査結果

STORY #011

日本国創成のとき～飛鳥を翔（かけ）た女性たち～

I. 計画目標の達成に対する評価

	最終評価案	最終評価理由（現地調査結果も含む）
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 外国人観光客数の指標は目標を達成しているが、観光客入込客数はコロナ後回復は見られるものの、目標値には達していない。 ■ また、今後は観光庁に提出している3市町合計の観光客入込数も参照すべきである。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	最終評価案	最終評価理由（現地調査結果も含む）
(1) 組織整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 個人サポーターの活動実績やふるさと納税額が一定程度あり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施ができています。
(2) 戦略立案	個別評価		不可	<ul style="list-style-type: none"> 伎楽再現等の要素の中に日本遺産ストーリーと関連する女帝等が組み込まれている点は理解できたものの、より日本遺産ストーリーを重視した戦略が必要である。
(3) 人材育成	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアガイドと併せプロガイドの育成等を行っており、地域プレーヤーが一定数存在し、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施ができています。
(4) 整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産ストーリーを訴求する看板やインフォメーションセンター等の整備により、観光客の満足度向上・滞在時間の増加に係る環境整備が進められ、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施ができています。
(5) 観光事業化	個別評価	不可	可	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者と連携し、構成文化財を活かしたツアー化等の観光事業化の取組（檀原市、高取町も含む）がなされているほか、主要施設の観光客数や周遊バスの利用者数が一定程度あり、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施ができています。
(6) 普及啓発	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校、高等学校、大学に対し、日本遺産に関連するイベント・講座等の開催や連携が一定なされており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施ができています。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 多言語による日本遺産に関するウェブサイト・SNS等（SNSの投稿が一定更新）での情報発信がなされていることから、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施ができています。
総合評価			可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。

III. 総括評価

		最終評価案	最終評価理由（現地調査結果も含む）
総括評価	個別評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 概ね目標値を達成しており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。

	最終評価案	最終評価理由（現地調査結果含む）
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域が目指すべき方向性は鮮明になったが、これらを着実に実行し、日本遺産のストーリーを活かした取組みを通じて着実に成果をあげていくことが求められる。この点、個々の市町村の既存事業の延長ではなく、歴史観光地としての飛鳥の中で、日本遺産としての明確な事業の実施に工夫いただくことが期待される。 ■ 特に、日本遺産の意義は、認定地域に来訪した方が、その地のストーリーを理解し、満足度の高い滞在体験を得るような環境整備を図る点にあることを十分に理解し、先端技術のみに傾倒することなく、確実な解説案内板の整備を進められたい。 ■ シリアル型の日本遺産であることを踏まえ、いずれかの自治体のみが取り組むのではなく、各構成自治体が連携して取り組むことが求められる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個々のコンテンツの活用・インバウンドマーケティングへの取組は早急に取り組むべき課題であり、今回の計画で明確になった民間の人材の育成を確実に進めることが求められる。 ■ 計画上是体制強化がしっかりと予定されており、民間事業者との連携した取組計画など、実行できれば効果が出る内容になっているものと評価できる。 ■ 史跡としての利用に制限がある中、工夫がなされていると評価できる。ただし、飛鳥歴史観光と日本遺産のストーリーの実現との関係（区別するか、相乗的に連携させるかも含めて）を整理することが求められる。
<p>総合評価</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域を牽引する「トータルナビゲーター」「トータルコーディネーター」の必要性に対する指摘は重要であり、今後6年間を迎えるにあたり、計画全体を遂行するリーダーとなる人材の確保が重要なポイントとなっている。また、明日香村以外のシリアル地域の地域属性を活かした取組と、3地域のより強い事業連携が期待される。 ■ 来訪者にストーリーや構成文化財の価値・意義を理解いただくという日本遺産の基本的な意義に関して、関係者間で十分な共通理解を図り、解説案内板の整備・充実に取り組むことが求められる。 ■ 「飛鳥を翔けた女性たち」にふさわしい構成資産を横につなぐ具体的な観光事業が実施できるか、日本遺産のテーマを魅力あるものとして海外、地域外の人に伝えていくか、今後の取組みが期待される。民間の力の育成を進めていただくとともに、事業全体の中での女帝のストーリーの位置づけなどに留意されたい。 ■ 史跡の活用についての制約がある中で、ストーリーの理解を促す工夫が求められる。

<p>評価結果</p>	<p>認定継続 (条件付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域活性化計画及びコメント内容について、6年間着実に実行されるようにすること。特に、継続的な取組を可能にする体制整備や多様な財源確保に取り組むとともに、日本遺産の基本的な意義に関する十分な共通理解を図った上で、ストーリーや構成文化財の価値や意義を伝えるための解説・案内の整備を強化し、日本遺産としての取組みを充実することに留意されたい。 ■ この実効性を担保するため、6年後の総括評価・継続審査において、日本遺産であることが適当とされた地域の数が、100件程度を超える場合には、認定地域（条件付）または候補地域について相対評価を行い、上位の地域を日本遺産とする。 ■ なお、認定継続（条件付）となった地域は、毎年度、進捗状況を御報告いただくこととしているが、2回目以後の総括評価・継続審査の結果として条件を付すこととなった地域については、計画期間の3年目において、現地確認を実施する可能性があることを申し添える。
-------------	-----------------------	--

平成27年度認定日本遺産 総括評価・継続審査結果

STORY #018

相良700年が生んだ保守と進取の文化
～日本でもっとも豊かな隠れ里-人吉球磨～

I. 計画目標の達成に対する評価

	最終評価案	最終評価理由（現地調査結果も含む）
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込み数」及び「宿泊客数」について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産への協力団体数」について、目標を達成している。
(4) その他	不可	■ 「日本遺産ロゴの活用回数」について、目標を達成していない。
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	最終評価案	最終評価理由（現地調査結果も含む）
(1) 組織整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 人吉球磨観光地域づくり協議会の法人化および地域連携DMOへの登録を果たすなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。
(2) 戦略立案	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 自治体計画における日本遺産の位置づけや観光地域づくり戦略の策定など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。
(3) 人材育成	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 地域プレーヤー数が一定程度あるほか、構成文化財保存継承のための人材育成や地域プレーヤー同士の交流促進など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。
(4) 整備	個別評価	可	可	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年7月豪雨からの復旧事業の他、構成文化財に関する多言語案内整備や、観光客目線での景観、駐車場やトイレ等の環境整備など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。
(5) 観光事業化	個別評価	不可	可	<ul style="list-style-type: none"> 観光消費額と宿泊者数を一定程度確保しているほか、観光事業収益の更なる獲得に向けた商品開発の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。
(6) 普及啓発	個別評価		可	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産及び歴史文化遺産学習支援事業、日本遺産人吉球磨堪能アイデア発掘・コンテンツ創造事業やウンスンカルタ大会など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。
(7) 情報編集・発信	個別評価		不可	<ul style="list-style-type: none"> 各種情報発信の取組は行われているものの、各種情報をワンストップで提供する仕組みの構築やインバウンド向け情報発信の強化などが望まれる。
総合評価			可	<ul style="list-style-type: none"> 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。

III. 総括評価

		最終評価案	最終評価理由（現地調査結果も含む）
総括評価	個別評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 概ね目標値を達成しており、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。

日本遺産を通じた地域活性化計画 評価概要

	最終評価案	最終評価理由（現地調査結果含む）
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 災害及びそこから復興の取組みの経験も踏まえた、日本遺産ストーリーを軸にした新たな地域創造という基本コンセプトは高く評価できる。ストーリーの磨き上げを利用しつつ、災害復興に取り組む将来像が明確で、実現に向けた方策も具体的なものと評価できる。 ■ 個々の施策の裏側にある地域ビジョン（ありたい姿）がまだまだ明確になっていないと見受けられ、日本遺産のストーリーのさらなる理解・共有が求められる。例えば「日本でもっとも豊かな隠れ里」の英語訳は十分に理解されていない面があり。それぞれの構成資産の特色が「相良700年」のストーリーのもとに有効に連携し切れていない点は課題である。 ■ 将来像の実現に向けて多岐にわたる事業を展開いただく計画となっているが、実効性あるものとなるよう、着実な実現に取り組まれない。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ シリアル型の日本遺産として、人吉市以外の町村をしっかりとプレイヤーに加えて取り組まれない。連携体制の整備が事業項目に記載されているところ、今後の改善が期待される。加えて、好循環の実現の観点から、民間事業者の巻き込みについてもさらなる充実が求められる。 ■ 様々な取組が相乗効果を出せるようなコーディネートを意識して取り組まれない。
<p>総合評価</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 観光まちづくりの個々の施策はかなり明確にはなってきたが、これらの結果として、どのような地域を目指すのかというグランドビジョンに依然として課題が残る。またシリアル型の日本遺産であるが、市町村の事業が個別的なものにとどまることから、日本遺産ストーリーを活かした連携・協働の事業の全体像の下で、人吉球磨ならではの官民連携が求められる。 ■ 復興後の姿の旗印の1つとして、日本遺産ストーリーが使われることで、日本遺産自体も磨かれていくことが期待される。文化資源の利活用を通じて、ストーリーの理解を促す環境整備に取り組まれない。 ■ 球磨川、そしてそれぞれの地域的な特色と「相良700年」という日本遺産のテーマをより有効に連携する具体的な観光事業、ウェブ広報の開発が期待される。計画では、これらの情報に依然として曖昧さが残り、経過観察の必要がある。 ■ ビジョン実現に向けた具体的な動きが多数進められており、総合的に効果を出せる体制整備ができれば、日本遺産の活用による効果が期待される。

評価結果	認定継続 (条件付)	<ul style="list-style-type: none">■ 地域活性化計画及びコメント内容について、6年間着実に実行されるようにすること。特に、日本遺産のストーリーをかみ砕いた形での事業展開を図り、シリアル型の日本遺産として各構成自治体が連携しつつ、それぞれ主体的に取り組まれるよう留意されたい。■ この実効性を担保するため、6年後の総括評価・継続審査において、日本遺産であることが適当とされた地域の数、100件程度を超える場合には、認定地域（条件付）または候補地域について相対評価を行い、上位の地域を日本遺産とする。■ なお、認定継続（条件付）となった地域は、毎年度、進捗状況を御報告いただくこととしているが、2回目以後の総括評価・継続審査の結果として条件を付すこととなった地域については、計画期間の3年目において、現地確認を実施する可能性があることを申し添える。
------	---------------	---

平成30年度認定日本遺産 総括評価・継続審査結果

STORY #055

カムイと共に生きる上川アイヌ
～大雪山のふところに伝承される神々の世界～

Ⅰ. 計画目標の達成に対する評価

	最終評価案	最終評価理由（現地調査結果も含む）
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」や「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、調査が実施できていない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	可	■ 「日本遺産のための寄付額」について、目標を達成している。
(4) その他	—	—
総合評価	不可	■ 全体として目標を達成しているとは言えない。

II. 取組内容に関する評価

		最終評価案	最終評価理由（現地調査結果も含む）
(1) 組織整備	個別評価	不可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 行政主導の組織体制であり、自主財源や法人パートナー等の更なる確保が望まれる。
(2) 戦略立案	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 戦略立案に向けたアンケート調査の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。
(3) 人材育成	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ ガイド人材をはじめとする地域プレイヤーの確保・育成など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。
(4) 整備	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産ストーリーの理解促進のための看板・案内板整備など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。
(5) 観光事業化	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産大使による新名物の開発など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。
(6) 普及啓発	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学生への学習教材配布や社会見学の実施など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。
(7) 情報編集・発信	個別評価	可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本遺産ポータルサイトの構築・運営、ライターや日本遺産大使を活用した情報発信など、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。
総合評価		可	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体として各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の概ね実施ができています。

	最終評価案	最終評価理由（現地調査結果含む）
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 将来像は看取できるが、明確とは言い難く、事業内容についても十分なものとは評価しがたい。大雪山の優れた景観のなかでのアイヌ文化の魅力を受容できる、そのような事業と感じられるものが少なく、さらなる取組の充実が求められる。 ■ シリアル型の日本遺産として、構成自治体全体が参加する日本遺産にふさわしい総合的な事業が実現できるか、上川町以外の構成自治体の積極的な参画が求められる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	C	<ul style="list-style-type: none"> ■ 組織体制の変更は記載されているが、課題を解決できる改善が明確ではない。地域プロデューサーの育成についても記載があるが、その役割が不明瞭であり、取組みの中で明確化される必要がある。 ■ 全構成自治体がしっかりと参画するとともに、民間事業者も巻き込んだ体制を整備いただく必要がある。シリアル型の日本遺産としてこの点を重要な課題として受け止めていただき、今後、確実な体制構築に取り組まれない。 ■ 計画は上川町の観光促進（地域活性化）が前面に出たものとなっており、シリアル型として、地域を面でとらえた情報発信や取組が強く求められる。
<p>総合評価</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ■ 専任職員の配置、12市町の合意と共同事業化、「協働型管理運営」などの記載について、計画としては評価し得るが、今後の具体化と成果の創出が課題である。特にシリアル型としての各自治体の積極的な取組みは不可欠である。 ■ 文化資源の利活用の意義及び必要性について適切に御理解いただいた上で、地域の活性化を目標として計画の遂行に当たっていただきたい。特に、自然の観光要素にも優れた地域であり、またアイヌの文化が自然とは切り離せないものであるところ、例えば両者を有効にリンクする事業を展開するなど、日本遺産にふさわしい地域振興の枠組みを検討されたい。 ■ 日本遺産のストーリーを基軸としつつ、他の地域との連携なども含めて、柔軟に取り組み方を検討されたい。

評価結果	認定継続 (条件付)	<ul style="list-style-type: none">■ 地域活性化計画及びコメント内容について、3年間着実に実行されるようにすること。■ この実効性を担保するため、3年後の総括評価・継続審査において、日本遺産であることが適当とされた地域の数、100件程度を超える場合には、認定地域（条件付）または候補地域について相対評価を行い、上位の地域を日本遺産とする。
------	---------------	---